

フィリピン 堅調な経済成長に期待 投資適格級への格上げおよび2013年経済成長率の上方修正

ご参考資料 2013年10月8日

- ムーディーズが、フィリピン国債の格付けを「Ba1」から投資適格級となる「Baa3」に引上げ
- 大手格付会社3社が全てフィリピンを投資適格級と評価
- アジア開発銀行(ADB)はフィリピンの2013年経済成長率見通しを上方修正

S&P、フィッチに続く投資適格級への格上げ： 大手格付3社がフィリピン経済の力強さを評価

10月3日、ムーディーズは、フィリピンの自国通貨建ておよび外貨建て長期国債格付けを「Ba1」から投資適格級となる「Baa3」に引上げ、見通しについては「ポジティブ」としました。

今年の上半期にフィッチ・レーティングスとスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)がフィリピンの外貨建て長期国債格付けを格上げしており、今回のムーディーズによる格上げを受け、大手格付会社3社が全てフィリピンを投資適格級として評価したことになります。

ムーディーズは格上げの理由として、①堅調な経済、②財政状況の改善、③政権の安定およびガバナンスの向上、④資金調達環境の安定、の4点を挙げています。

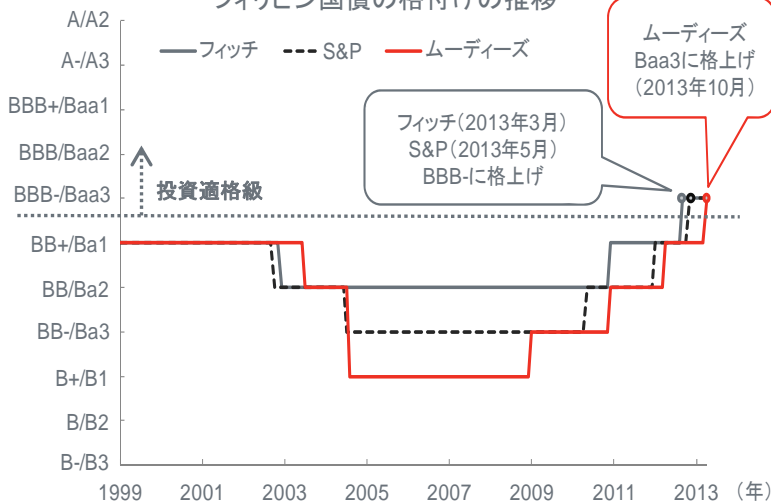
ADBはフィリピンの経済成長率見通しを上方修正： アジア新興国の経済が減速する中、 堅調なフィリピン経済を評価

10月2日、ADBは「アジア経済見通し2013年改訂版」の中で、アジア新興国全般の2013年の経済成長率見通しを前回(2013年4月)予想から引下げ、景気は2014年以降徐々に上向くとの見解を示しました。このような状況の中、フィリピンについては前回予想から1%引上げ前年比+7%に上方修正しました。

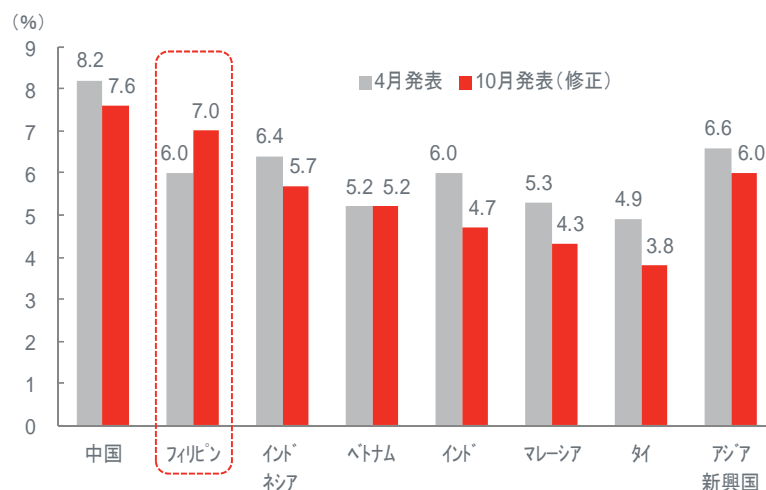
当社グループでは、フィリピン経済は財政の健全化、力強い内需、投資の増加などに支えられ、引続き堅調な成長を維持すると見えています。また、フィリピン人海外就労者(OFW)による本国送金の増加などに支えられた消費は底堅く推移すると見込まれます。

引続き、米国の量的緩和縮小を巡る市場の反応やシリア情勢などに留意しつつも、このような環境における市場の短期的な調整局面は、力強いファンダメンタルズを有する企業への良い投資機会であると考えています。

フィリピン国債の格付けの推移



アジア各国・地域 2013年実質GDP成長率見通し



期間: 1999年7月末~2013年10月3日 ※外貨建て長期国債格付け
出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

出所: アジア開発銀行 Asian Development Outlook 2013 Updateのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

131008(02)